

書香

2004. 3. 31

No. 43

目 次

◎ 本屋を訪ねて （理学部助教授 宮澤眞宏）…………… 1	○ 2004年度外国雑誌案内…………… 8
〔諸 報〕	○ 本学教官執筆図書案内……………10
○ Web 文献複写申込みを開始 …… 3	○ 図書館利用案内～新入生の皆さんへ～……………11
○ 学内文献複写伝送サービスを開始…………… 3	○ 留学生用情報端末を増設……………13
○ 学術コミュニケーションの変革への 取り組み：SPARC/JAPAN と大学図書館 …… 4	○ 平成16年度新入生館内ツアー案内……………13
○ Project Euclid 説明会参加報告 （理学部助手 木村 巖）…………… 5	○ 平成16年度附属図書館開館・休館予定表……………14
〔案 内〕	〔その他〕
○ 図書館貴重図書の紹介 「ヘルン文庫」（その2）…………… 6	○ 図書館関係会議……………15
	○ 平成15年度附属図書館運営委員会 委員名簿（平成15年8月現在）……………15

本屋を訪ねて

理学部助教授 みやざわまさひろ
宮澤眞宏

私は本屋が好きだ。入ったことの無い本屋を見つけると立ち寄りた衝動に駆られる。それは本屋の大小や種類を問わない。店主一人でやっている様な小さな本屋は、えてして欲しい本は置いていないのだが、店主の趣味（嗜好）のせい、妙に置いてある本に偏りがあって本のタイトルを眺めているだけでも楽しかったりする。特に、旅行先の小さな町の本屋には、驚かされることよくある。趣味の本（実用書の類）のコーナーは、普通なら各ジャンルにそこそこばらけてあるものだが、釣りの本がほとんどだったり、手品の本の割合が非常に多かったりしたのを見たことがある。

どう考えても売れ筋の本とは思えず、これで採算が合うのか、絶対に店主の趣味だと思うが、売れなくても構わないのだろうか。本の流通システムをよく知らないのになんとも言えないが、他人事ながら余計な心配をしてしまう。気が小さな私は、つい長居をしてしまうと本を買わずに店を後にすることが出来ないの、それほど欲しくも無いのに1冊買ってしまふ。旅先では、意外と暇つぶしになることも多く、結局それほどムダにはならない。

さて、一方、書店の大型化も進んでいるようで、郊外型に近い店が富山市内にもいくつも存在して

いる。また大型店の増加に伴い、競争原理も働いてサービスも向上しているようだ。イスやテーブルを用意しての試読はもう当たり前のことで、ソファなどあったりして、ゆったり本が読めたり、店内の喫茶室に購入前の本を持ち込んで読んでも構わないところもそう珍しくはなくなってきた。ここまで来ると居心地の良さでは図書館よりも上になって来たと言えるだろう。図書館は、基本的に飲食禁止ですもの。ちなみにマンガ喫茶の類はソファに飲み物、お菓子付きは当たり前（当然、料金がかかっているのが当たり前ではある）。とは言っても、まだ自分の本でもないのに飲み食いしながら本を読むのには抵抗がある。まわりの方は結構平気で読んでいるが、汚したらどうしようか心配で、未購入の本を喫茶に持ち込む事はほとんどしていない。しかし、「こんなに自由に立ち読み（実際には立って読んでいない）が出来て本が売れるのだろうか」と余計な心配をまたしてしまう。ふと自分を振り返って見れば、確かに何時間ものんびり過ごすことが多いがその帰りは、かなり店の売り上げに貢献しているのであった。

戦略としては、間違っていないのだろう。

話しは、変って10年程前、留学先でのこと。大学の近くに（とは言っても3?4kmは離れていた）大きな本屋があった。無論、大学構内にも大学が経営する大きな書店あり、一般書から専門書までかなり充実していた。ただし、6時頃には閉店してしまった。それに対し、その本屋はかなり遅くまで開いていた（多分10時頃までやっていたと思う）。となりには、カフェがあり、遅くまで学生で賑わっていた。ちょうど大学からの帰り道にありよく立ち寄ったし、休日の夜は、妻とよく遊びに行った。自分もまだ半分学生のような感じだったからか学生達を含めたその雰囲気が好きだった。注目すべきは、その本屋を中心に学生（一般の人も含まれるが）が集まって来ていたことだ。今の日本では、ほとんど見られない光景だろう。富山大学の学生にとって残念なのは、大学の近くに学生を対象とした本屋が無いことである。学生への図書の供給源として図書館は重要であるが、いつでもすぐに学生の要望に対応できるものではない。本屋の重要性を忘れてはならない。

Web文献複写申込を開始

平成16年1月～3月の期間に、教職員の方の文献複写申込について、Web画面からの申し込みを試行しました。平成16年4月から正式に開始いたします。（学生の方は利用できませんので、ご了承ください。）

教職員ご本人からの申込で経費が公費のものに限定します。

URL:<http://libreq.lib.toyama-u.ac.jp/copyodr.html> に

アクセスし、画面に従って必要な情報を入力して下さい。受付後、申込者に確認のメールをお届けします。

なお、参考調査カウンターでの「文献複写申込書」による申込は、従来通り受け付けます。詳細については、附属図書館ホームページをご覧ください。

（情報サービス課参考調査係）

学内文献画像伝送サービスを開始

図書館内に配架されている資料の文献を、画像ファイル（PDF画像）にして、メール添付で申込者にお届けするサービスを平成16年1月～3月の期間に試行しました。平成16年4月から正式に開始いたします。

このサービスは、教職員ご本人の「Web文献複写申込」からの依頼で経費が公費のものに限定します。

また、対象資料は、図書館内に配架されている

資料のみです。研究室に配架されている資料や雑誌の最新号は対象外です。

サービス時間帯は、原則として平日：9：00～17：00です。（時間帯以外の受付は、翌業務日以降の取扱いとなります。なお、時間内受付でも、業務の都合により、翌業務日以降となる場合もありますのでご了承ください。）詳細については、附属図書館ホームページをご覧ください。

（情報サービス課参考調査係）

学術コミュニケーションの変革への取り組み： SPARC/JAPANと大学図書館

1. 現状

これまで、学術雑誌は研究者による研究成果の公表と利用において大きな役割を果たしてきました。しかし、学術コミュニケーションにおいて必要不可欠な学術雑誌は、近年、大手商業出版社が市場の大部分を独占し、毎年のように購読価格の値上げが行われ、それに伴い購読中止が増加し、また値上げが行われるという悪循環に陥っています。一方、学術雑誌の電子ジャーナルによる提供も急速に進展していますが、その価格設定は従来からの冊子体購読価格の規模維持が条件とされるなど、経費負担の増加と大学・研究者の雑誌購読の選択肢を狭める結果も招いています。

学術コミュニケーションの危機は、雑誌購読の問題だけでなく、学術論文の評価、編集、流通のプロセス全体が出版社のコントロールのもとに置かれ、研究者の手から離れている点に大きな問題があります。

2. 欧米での取り組み

学術コミュニケーションの危機を打開するための取り組みとして、アメリカでは研究者、学協会と図書館が連携して、新たな学術雑誌を刊行する活動が1998年から開始され、SPARC (Scholarly Publishing and Academic Resource Coalition) と呼ばれ、北米研究図書館協会 (ARL: Association of Research Libraries) が提唱・推進するプログラムです。具体的には、米国化学会の *Organic Letters* の刊行、コーネル大学図書館が推進する数学系電子ジャーナル・プラットフォーム *Project Euclid* の支援等を行っています。ヨーロッパにおいても、SPARC Europe が形成されています。また、研究者自身が研究成果を公表し、それらへのオープンアクセスを保証して行こうとする運動である PLoS (Public Library of Science) も進展しています。

3. 大学図書館での取り組み

国立大学図書館協議会 (以下「国大図協」) では、電子ジャーナルに関して大手商業出版社

と協議を行い、電子ジャーナルの利用方法やアクセス範囲の拡大等一定の成果を挙げて来ましたが、いわゆる「シリアル・クライシス」の解決には至っていません。一方、国立情報学研究所 (NII) は、平成15年度から SPARC/JAPAN (国際学術情報流通基盤整備事業) を開始し、学協会、国内の大学図書館、米欧の SPARC と連携して、国内で刊行される学術雑誌の電子化・国際化を進め、研究者自身が研究成果の公表・流通に参加することを支援する活動を行っています。NII では、今年度公募を実施して16機関21誌をパートナー誌として選定し、支援を開始しています。

大学図書館では、この SPARC/JAPAN の意義を研究者に伝えるとともに、SPARC/JAPAN 及び SPARC の支援誌の普及を図っていくことを目指しています。富山大学附属図書館も、国大図協の一員としてこれらの活動に参加しており、各種の活動について学内研究者の方々に伝えていきたいと考えておりますので、ご理解をお願いします。

この取り組みのひとつとして、国立情報学研究所、東北大学附属図書館により、「SPARC/JAPAN 推進セミナー：Project Euclid 説明会」が開催され、本学理学部数学科刊行の *Mathematics Journal of Toyama University* から1名の参加がありました。(次記事をご参照ください)

各種の取り組み・活動については、以下の情報をご覧ください。

NII SPARC/JAPAN <http://www.nii.ac.jp/sparc/>
国大図協「Create Change : 学術コミュニケーションの変革を！」

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/anul/sparc/create/faculty.pdf>
米国 SPARC <http://www.arl.org/sparc/>
欧州 SPARC <http://www.sparceurope.org/>
PLoS <http://www.plos.org/>

Project Euclid 説明会参加報告

理学部・助手 木村 巖 いわお

2004年1月23日(金)、東北大学にて開催された「Project Euclid 説明会」に参加したので簡単に報告する。



同説明会は国立情報学研究所(以下 NII) 主催であった。対象は、数学の学術専門誌を刊行する国内の大学・学協会である。富山大学理学部数学科でも、英文学術専門誌「Mathematics Journal of Toyama University」を刊行している。

NII の推進する SPARC/Japan ([1] 参照)、国内の英文学術専門誌の、国際的な存在感を確立することを目指している。特に、オンラインジャーナル化とその visibility (可視性) の向上を目標に掲げている。学問分野毎に異なる慣行に対応し、数学分野については Project Euclid への参加を推奨している。

Project Euclid (以下 PE) は、Cornell 大学図書館が主宰している。主な目的は、数学(応用数学も含む)と統計学における学術的交流、主に学術出版を手助けすることである(詳細は同プロジェクトの web page [2] を参照のこと)。背景には、欧米での学術出版の寡占化とそれに伴う価格の高騰がある。

具体的には、オンラインジャーナルを公開するための WWW サーバの提供、メタデータによる検索、購読形態に応じた認証・課金、複数のオンラインジャーナルを束ねての購読プロモーション

などを請け負う。

当日は、安達氏(NII)の SPARC/JAPAN の説明から始まり、Mrs. Ehling (Cornell 大) による PE の説明と、Mr. Ruddy (同) による、PE でのオンラインジャーナル閲覧の実演が行われた。さらに、既に SPARC/JAPAN に選定され、PE に納められている Tohoku Math. Journal ([3]) KodaiMath. Journal ([4]) の担当者(それぞれ西川氏(東北大)と二木氏(東工大))による経緯・現状報告がなされ、質疑応答が行われた。



商業出版社による学術出版物の価格上昇と、大学の研究予算削減に起因する、購読学術雑誌の点数の激減は、きわめて重大な問題である。特に数学分野では、他の自然科学分野と比べても、より古い時代の論文、文献を引用する。これは、いったん証明された事実は、時間の経過にかかわらず正しいという著しい特質のためである。従って、数学の研究においては、様々な論文雑誌の長期間にわたるバックナンバーが常に閲覧できることが重要である(日本数学会の声明 [5] も参照)。

SPARC/JAPAN, PE といった取り組みが、現状を打破する一因となることを願う。また、当学科刊行の Mathematics Journal of Toyama University も、この流れと無縁でいることは出来ないとの感を強くして、一面雪景色の仙台を後にした。

[1] SPARC/JAPAN web page, <http://www.nii.ac.jp/sparc>

[2] Project Euclid web page, <http://projecteuclid.org/>

[3] Tohoku Mathematical Journal, <http://www.math.tohoku.ac.jp/tmj/Jabout.html>

[4] Kodai Mathematical Journal, <http://www.math.titech.ac.jp/~tosho/Journal/info-e.html>

[5] 日本数学会、声明「数学研究における雑誌の重要性について」
<http://www.soc.nii.ac.jp/msj6/seimei/suugakuzasshi.pdf>

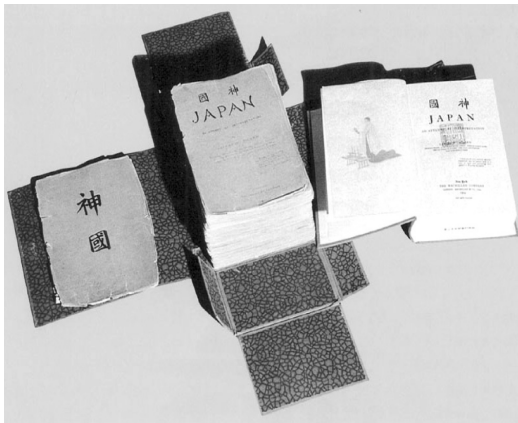
図書館貴重図書を紹介 「ヘルン文庫」(その2)

今回は、ヘルン文庫の図書内容と特色あるものについて紹介します。

ヘルン文庫の蔵書内容

ヘルン文庫には全部で2,435冊の図書があります。八雲がアメリカのニューオリンズ時代に寸暇を惜しんで、収入の大半を費やして購入した図書と、日本に来て購入した図書です。前者には「Lafcadio Hearn」のゴム印が押してあり、後者には「ゑるん」の印が押してあります。洋書のうち英語の図書が1,352冊、フランス語の図書が719冊、和漢書が364冊のほかに、「神国日本」の手書き原稿1,200枚(秩入り2冊)があります。

* 神国日本の直筆原稿とその刊本



次に内容について概要を紹介します。

英文学では、ベーオウルフからイエイツまでの詩やアーバーの英国詩選集10冊、チャイルド教授の英国民謡集4巻、ゴールドン・トリジャーリ叢書34冊などがあります。

アメリカ文学では、哲人エマーソンの全集、詩人ブレット、ハート、ロングフェロー、ホイッティヤ、ホイットマン、ポーらの詩集、さらに「リバーサイド文学シリーズ」の小冊子98冊などがあります。

フランス文学では、バルザック全集50冊、ユーゴー33冊、フローベル、ドーデー11冊、モーパッサン18冊、メリメ6冊、フランス22冊、ロチ28冊、ゴーチェ、ボードレル、ミュッセ、ヴォルテール、ルメール、ゾラの作品などがあります。

ギリシャ・ラテン文学では、「ボーンズ古典叢書」やマクミラン版散文訳でホーマをはじめエウピリデスの戯曲、ホラチウス、ルクレチウス、オヴィド、ヴェルギリウスなどの作品があります。

ドイツ・北欧文学では、ゲーテ15冊、ハイネ、レッシング、リヒター、イブセン、メーテルリンクなどの英語版のほかに、仏語訳ハイネ14冊があります。

ロシア文学では、ドストエフスキー、トルストイ、ツルゲーネフの仏語訳が各4冊ずつあります。

神話・民間伝承に関するものでは、フレイザーの「金枝篇」や中世の神話・寓話類があります。

歴史関係では、バックルの「英国文明史」、史家ミュシュレーの全集50冊、ティヌ8冊、ギボンの「ローマ帝国衰亡史」、グロートの「ギリシャ史」、フィクスの「北米史」、アッシリア、エジプトの古代資料「Records of the Past」、ウィンケルマンの「古代芸術史」などがあります。

哲学・心理学・倫理学関係では、スペンサーの著作40冊、グラント・アレン、W. ジェイムズ、レッキー、ショーペンハウアー、ニーチェ、心理学のリボー、モーズリなどの著作があります。

宗教関係では、マクス・ミュラー篇「東洋の聖書」24冊や、エルセヴィール版「ビブリオテーク・オリエンタル」42冊、シュワブの「タルムード」など東方の宗教に関するものが多く、イギリスの仏教学者T. W. R. ディヴィスの「仏教、歴史と文献」ほかインド思想と仏教関係の蔵書は約70冊を数えます。

東洋関係では、ウィリアム・アダムズ(三浦按針)が日本から本国に送った手紙を集めた「Original Letters」のほか、中国、インド、ペルシャ、アジアに関する古版の希観書があり、これら多くはアメリカ時代に蒐集したものです。

日本関係では、アストンの英訳による「日本紀、日本文学史、日本文語文法、日本語口語文法」、チェンバレンの英訳による「古事記、日本語便覧、日本語小文法、日本事物誌」、ディキンズ英訳による「忠臣蔵」、グリフィスの「ミカドの帝国、日本の妖精界」、バチラーの「アイヌ研究」、ラインの英訳「日本調査旅行記」、能登半島を紀行したパーシバル・ローエルの「極東の魂」、フランス語の著作では、L. ロニーのもの、日本人の作品では、末弘謙澄の英訳「源氏物語」、岡倉天心の「東洋の理想」、穂積陳重の「祖先崇拜と日本の法律」などがあり、それらの中には、著者新渡戸稲造がハーンへの献辞を付して贈った「武士道」など68冊を数えます。

文法書は、英語、フランス語、スペイン語、ラ

テン語のものがある。辞典には1896版ウェブスター、ウィリアム・スミスのギリシャ・ラテンの古典辞典などがあります。

自然科学関係では、「国際科学シリーズ」18冊、「ケンブリッジナチュラリヒストリー」8冊などの叢書のほか、ダーウィン、フンボルト、A. R. ウォーレス、T. ハックスリー、フェアブルの著作があります。

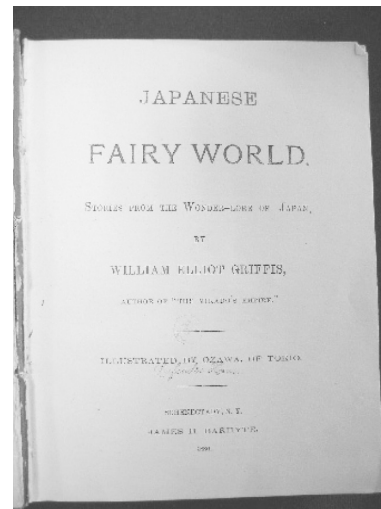
定期刊行物では、「日本アジア協会報告」「ロンドン日本協会雑誌」が揃っている。また、ハーンの寄稿の載った「アトランティック・マンスリー」もあります。

和漢書の364冊は、106種ですべて日本のものです。大別すれば、帝国文庫のような明治期の活字本と江戸期の版本です。中には例外として手写本や明治期の版本もあります。手写本や江戸時代の版本では、伝説、説話、随筆、浮世草子、怪談の類が多い。ハーンの作品の原話を収めた数冊をあげれば、茶碗の中、生霊、甥の話の「新著聞集」、耳なし芳一の「臥遊奇談」、おしどりの「古今著聞集」、ろくろ首の「怪物与論」、青柳のはなしの「玉すだれ」、鏡の少女、伊東則資の話の「当日奇観」などがあり、仏教関係は、11点あります。

その他特記すべき蔵書として、1922年（大正11）に刊行されたホートン・ミフリン社の「小泉八雲

全集」（英文、全16巻）の Author's Copy 版が収められており、これには、夫人「小泉節」さんの署名と押印があります。

***グリフィスの「Japanese Fairy World」の標題紙**



（「ゑるん」の印と「Lafcadio Hearn」のゴム印がある稀少本）

以下に、文庫所蔵の洋書を英語本とフランス語本に分け、かつニューオリンズ時代と日本時代とに分けた分野別の数字（平田 純「ヘルン文庫」下、昭和60年より）を紹介します。

***洋書分野別冊数**

種類	英 語 本		フ ラ ン ス 語 本	
	ニューオリンズ時代	日 本 時 代	ニューオリンズ時代	日 本 時 代
イギリス文学	25	235		
アメリカ文学	4	34		
フランス文学	3	1	76	206
ヨーロッパ文学	14	47	29	49
選集・批評・文学	13	288	7	13
神話・民間伝承	6	18	46	28
歴史	24	52	51	68
哲学・宗教	31	125	39	6
東洋関係	28	73	54	13
言語・辞典	9	73	7	
自然科学	37	72	14	2
雑	3	14	6	1
定期刊行物		100		4
ハーン著作		24		
小 計	197	1,155	329	390
合 計		1, 352 (冊)		719 (冊)

ヘルン文庫の蔵書は、八雲の知識そのものであり、彼の評論・随筆、文学的創作活動の糧となった原拠の資料群と言えます。また、19才でアメリカでの窮乏の生活を余儀なくされた彼が、図書館へ通い独学で知識を広め、所蔵資料の収集を成して多くの文筆活動を展開した足跡とも言えるものです。

富山大学附属図書館では、今後とも多くの方がヘルン文庫を利用し、八雲の著作活動について広く研究・学習が展開されることを期待しています。

参考資料：

- 平田純「ヘルン文庫」上、下（「同朋」86、87 昭和60年）
- 布村弘「ヘルン文庫」（「小泉八雲事典」恒文社 平成12年）

（*前回の紹介で八雲の熊本と神戸での住居期間を2年、3年と記載しましたが、3年、2年の誤りです。訂正してお詫びします。）

2004年度外国雑誌案内

新規タイトル

The journal of Siberian studies
Synlett
Clothing and textiles research journal
The Times educational supplement
The Review of financial studies
ICES Journal of information, Communication and Ethics in Society
Journal of international arbitration

中止雑誌

A.I.A.A. Journal
Advances in applied mathematics
Advances in engineering software
Agricultural history review
American literature : a journal of literary history
American machinist
American speech : a quarterly of linguistic usage
Analysis; international mathematical journal of analysis and its application
Anatolian studies : journal of the British Institute of Archaeology at Ankara
Annales Histoire sciences sociales
Annals of physics
Applied mechanics reviews
Applied physics letters
Applied physics letters
Asia-Pacific financial markets
Aut aut
Biotechnology & bioengineering
Bulletin des sciences mathématiques. Ser. 2
Bulletin of Seismological Society of America
Bulletin of the Belgian Mathematical Society
Business history
Business history review
Chaos
Chromosome research : an international journal on the molecular
Classical and quantum gravity : an international journal devoted to gravity
Communications in partial differential equations
Communications on pure and applied mathematics
Compel
Computational optimization and applications
Crosscurrents
Czechoslovak mathematical journal
Developmental psychology
Differential equations

Doklady mathematics
Economia internazionale
Economic development and cultural change
Economic geography
English studies
Erdkunde
Et cetera : a journal devoted to the role of symbols in human behavior
Ethics
European Journal of Sociology
Family law reports
Feminist studies
Fortune International
Frontiers of medical and biological engineering
Functional analysis and its applications
Geographical review
Human biology
Human communication research
IEEE transactions on ultrasonics
Inflation report
Integral equations and operator theory
International arbitration report
International journal of comparative sociology
International journal of consumer studies
International journal of machine tools & manufacture.
International journal of modern physics. A
International journal of osteoarchaeology
International labour review
Inverse problems
Izvestiya. Mathematics
JOPERD
Journal de mathématiques pures et appliquées. Ser. 9
Journal of advertising
Journal of advertising research
Journal of applied physics
Journal of chemical physics
Journal of contemporary Asia
Journal of differential equations
Journal of fluid mechanics
Journal of global optimization
Journal of integral equations and applications
Journal of international consumer marketing
Journal of magnetism and magnetic materials
Journal of mathematical analysis and applications
Journal of mathematical physics
Journal of organic chemistry
Journal of sound and vibration
Journal of the mechanics and physics of solids. Journal of transport economics and policy
L'année psychologique
L'Enseignement mathématique. 2e série.

Linear algebra and its applications
 Linguistics and philosophy
 Liquid crystals
 LSA bulletin
 Machinery and production engineering
 Manufacturing engineering
 Measurement science & technology
 Mechanical engineering
 Medical and biological engineering and computing
 Modern physics letters. A. A
 Monthly bulletin of statistics = Bulletin mensuel de statistique
 Natural resource modeling
 Natural resources journal
 New literary history : a journal of theory and interpretation
 New York Times book review
 Oxford review of education
 Partisan review
 Past & present
 Periodica mathematica hungarica
 Philosophical magazine : structure and properties of condensed matter
 Philosophical magazine letters. Physics condensed matter
 Philosophy and public affairs
 Physical chemistry chemical physics
 Physics letters. Sect. B
 Physics reports : a review section of physics letters.
 Physics today
 Physiological measurement
 PMLA : publications of the Modern Language Association of America
 Poe studies
 Politics and society
 Politische Vierteljahresschrift
 Pragmatics : quarterly publication of the International Pragmatics Association
 Proceedings of the I.E.E.E
 Proceedings of the Institution of Mechanical Engineers. Part A~L
 Proceedings of the Society for Experimental Mechanics
 Progress in human geography
 Protoplasma
 Psychology and marketing
 Public opinion quarterly
 Quarterly journal of mathematics. Oxford ser. 2
 Quarterly of applied mathematics
 Review of international political economy
 Reviews of modern physics
 Risk. -- [Risk Magazine]
 Russian mathematical surveys
 S.I.A.M. Journal on numerical analysis
 Schmollers Jahrbuch
 Schweizerische Zeitschrift fur Volkswirtschaft und Statistik
 Sequential analysis
 SIAM journal on matrix analysis and applications
 Sloan management review
 Small group research
 Social compass
 Social forces
 Social problems
 Social sciences information
 Social theory and practice
 Social work
 Socialist review
 Southern review. N.S
 Spectrochimica acta. A: molecular spectroscopy
 Stochastic processes and their applications
 Stochastics and stochastics reports
 Strategic management journal
 Studies in language
 Studies in political economy
 Telos
 Text
 Textile research journal
 The American statistician
 The Annals of applied probability
 The British journal of social work
 The British journal of sociology.
 The Canadian geographer = Le Geographe canadien
 The English historical review
 The Georgetown law journal
 The Harvard environmental law review
 The international review of retail, distribution and consumer research
 The Journal of energy and development
 The Journal of geometric analysis
 The Journal of peasant studies
 The Journal of real estate finance and economics
 The Journal of the Acoustical Society of America
 The Service industries journal
 The Sewanee review
 Theoretical linguistics
 Theory of probability and mathematical statistics
 Theory, culture & society
 Transactions of the Royal Historical Society. Ser. 6
 Transportation research. Pt. A, Policy and practice
 V.D.I. Nachrichten
 VDI-Z
 WSI Mitteilungen
 Zeitschrift fur Geschichtswissenschaft
 Zeitschrift fur Wirtschaftsrecht ZIP

本学教官執筆図書案内

附属図書館では、本学教官が執筆した図書を積極的に収集しています。それらの図書は本館1階の専用コーナーに配架され、学生の皆さん等によって、有効に利用されています。新たに本を出版される際には、是非、図書館に2部ご恵贈くださるようお願いします。

ご寄贈いただいた図書は、『書香』及び附属図書館ホームページで紹介します。今回は平成15年10月以降の受入分です。

■ 総記

Рукописание Магнуша : Исследование и Тексты / 中沢敦夫 (人文学部) 著
Дмитрий Буланин 2003年 (022.23/N15/Ru)

■ 歴史

ロシアはどこからやって来たか / 中沢敦夫 (人文学部) 著
新潟日報事業社 2002年 (238/N15/Ro)

コスタリカを学ぶ / コスタリカ共和国政府観光局日本事務局編集
日本・コスタリカ自然保護協会 2003年 (295.76/C82/Co)
執筆者：竹村卓 (人文学部) ほか

■ 自然科学

モンスーン研究の最前線 / 河村隆一 (理学部) 編集
日本気象学会 2003年 (451.5/K17/Mo)

■ 文学

講座森鷗外 第2巻 鷗外の作品 / 平川祐弘ほか編
新曜社 1997年 (910.268/H62/Ko=2)
執筆者：金子幸代 (人文学部) ほか

大逆事件に挑んだロマンチスト : 平出修の位相 / 平出修研究会編
同時代社 1995年 (910.268/H62/To)
執筆者：金子幸代 (人文学部) ほか

鷗外と<女性> : 森鷗外論究 / 金子幸代 (人文学部) 著
大東出版社 1992年 (910.268/M82/Ka)

鷗外と神奈川 / 金子幸代 (人文学部) 著
神奈川新聞社 2004年 (910.268/M82/Kan)

森鷗外論集 歴史に聞く / 酒井敏、原國人編
新典社 2000年 (910.268/M82/Sa)
執筆者：金子幸代 (人文学部) ほか

附属図書館利用案内

～新入生の皆さんへ～

附属図書館は、本館（メインストリートの突き当たり）のほか、工学専門図書室（工学部キャンパスの管理棟1階）があり、約98万冊の図書、約16,000タイトルの雑誌等を所蔵しており、様々なサービスを通じて教職員及び学生の教育・研究を支援しています。大いに利用してください。

詳細はホームページも参考にしてください。

<http://www3.toyama-u.ac.jp/lib/>

1. 開館時間

平日（学期中） 午前9時～午後10時

（ただし、夏休み、冬休み及び春休みの期間中は、ともに午前9時～午後5時です。）

土・日曜日（学期中）午前10時～午後5時

2. 休館日

- ・休業中の土・日曜日
- ・国民の祝日及び振替休日
- ・本学創立記念日（5月31日）
- ・年末年始（12月28日から4月4日）
- ・その他、館長が特に必要と認めた日。

詳細は、開館・休館予定表をご覧ください。

3. 図書の貸出と返却

貸出を希望する場合は、カウンター上の自動貸出装置に学生証と図書のバーコードを読み込ませ、セルフで手続きをしてください。不明な点は貸出カウンターにお聞きください。貸出冊数及び貸出期間は、次のとおりです。

- | | | |
|--------------------|-------|-------|
| ・学部学生 | 5冊以内 | 2週間以内 |
| ・大学院生 | 10冊以内 | 1ヶ月以内 |
| ・研究生、聴講生等は、学部学生と同じ | | |

（ただし、雑誌・参考図書・視聴覚資料は貸出できません。）

なお、貸出手続きを受けずに図書を持ち出そうとすると、警報ブザーが鳴りますので注意してください。

夏休み、冬休み、そして春休み期間中は図書の長期貸出サービスを利用できません。

閉館時に図書を返却する時は、玄関左側の返却ポストに入れてください。また、返却期限に遅れると遅れた日数分だけ貸出停止になりますので、遅れないように注意してください。貸出期限内であれば、1回更新できます（ただし、長期貸出や予約者がいる場合はできません）。

4. 資料の探し方

図書館の資料は主にコンピュータでOPAC検索します。（OPAC：Online Public Access Catalog）

OPACで検索できる範囲は、昭和60年度（1985）以降に受入れた図書と、それ以前の受入本でもさかのぼってコンピュータに登録した図書です。雑誌は全タイトル可能です。

OPACの使い方マニュアルは、各階の検索用コンピュータ横に備え付けてあります。

昭和59年度（1984）以前の受入本については、コンピュータに未入力中のものもあるので、カード式目録でも調べてください。

また、携帯電話でOPACの検索や、図書の新着案内を見ることができます。

iモード	http://www.lib.toyama-u.ac.jp/i/
ボーダフォンライブ	http://www.lib.toyama-u.ac.jp/j/
Ezweb	http://www.lib.toyama-u.ac.jp/ez/

5. 資料の配列

OPAC検索、あるいはカード目録を使って求める図書の情報が見つかったら、その請求記号を確認してください。本を探す大切な手掛りです。貸出中でなければ、館内の配架場所ごとに請求記号順に本が並んでいます。請求記号は例のような数字・英字の組合せで、図書の背にラベルが貼ってあります。

1段目の数字は、学問分野をコード化した分類番号を採用しているため、同じ番号あるいは近似の番号のところには、同じような研究内容の本が集まっています。関連文献を一緒に見つけるのに

便利です。

(例) 夏目漱石『吾輩は猫である』(漱石全集)
岩波書店
918.68
N21
Iw=1

ただし、コンピュータ画面上は横一列になって、918.68||N21||Iw=1 と表示されます。区切記号 (||) ごとに1段と見なしてください。

貸出中のものを利用したいときは、返却期限日から判断して、(a) 近日中に返却されそうな場合は予約をかけます。(b) 教官や研究室に長期貸出されているものは、一時借用のための専用の申込書が貸出カウンターにありますので、記入してください。

雑誌については、請求番号は特にありません。基本的に、雑誌名順に配列されているからです。外国雑誌(発行地が外国)はABC順、国内雑誌(発行地が国内)は五十音順です。

ちなみに、図書館資料は書棚の左から右へ、書架の上の棚から下の棚へと並んでいます。1列の端まできたら裏側に続きます。

6. 館内の配架場所

[所在表示]	[配置場所]	[資料区分]
本館1階	本館1階	参考図書、学生用図書
雑誌情報室	本館南2階	雑誌(理工系)
雑誌情報室	本館南3階	雑誌(人文・社会系)
本館南4,5,6階	本館南4～6階	研究用図書
工学図 書庫	工学専門図書室 本館北書庫1～4階	工学系の図書・雑誌 昭和59年度以前受入図書

書庫内に配架されている昭和59年度(1984)以前の受入図書は入力作業が完了しておりませんので、OPAC検索で見つからない場合は、前述のカード式目録を利用してください。

雑誌のうち、新着雑誌は本館1階に、大学・研究機関等の紀要・報告類は、書庫3～4階に配架されています。雑誌資料室(本館南2～3階)の電動式集密書架で見つからない雑誌は、こちらを探してください。

書庫へ入るときは、学生証を提出してください(バッグ類は持込み禁止です)。書庫の利用時間は平日9:00～17:00です。

7. 参考調査・文献複写

本学図書館にない資料でも他大学等の所蔵を調べて、コピーや現物を取り寄せることができます(実費有料)。

また、館内に現金やカードで使える複写機を設置していますが、図書館資料を複写する場合は、著作権法に基づく所定の手続きが必要です。備え付けの文献複写申込書に記入の上、カウンターに申し込んでください。

8. その他のサービス

(1) インターネット、CD-ROM

本館南1階のマルチメディア・コーナーに情報検索用のコンピュータが設置しており、インターネットやCD-ROMの検索ができます。また、ノートパソコンを持ち込んでインターネットを利用する場合は、本館南各階の閲覧室北側に情報コンセント(DHCP接続対応)が用意してあります。また無線LANカードの貸出もしています。

(2) ビデオや海外衛星放送テレビ

語学学習等のビデオが用意してあります。貸出カウンターで申し込みを行い、本館北2階自由閲覧室内のビデオ・ブースで利用できます。

また、約40チャンネルの海外衛星放送が本館1階と2階で視聴できます。リモコンとヘッドフォンが必要なのでカウンターで申し込んでください。

(3) 購入希望図書

教育・研究に不可欠な資料で、本学に所蔵していないものについては、所定の申込書に必要事項を書いて、リクエストすることができます。

(4) 富山医科薬科大学との相互利用

富山医科薬科大学附属図書館で図書の貸出を受けることができます。学生証持参のうえ、富山医科薬科大学附属図書館の窓口で手続きを行ってください。貸出冊数は、4冊まで、期間は2週間です。

(5) 館内施設の利用

グループ閲覧室などの館内施設を利用する場合は、カウンターで所定の手続きをしてください。

留学生用情報端末を増設

図書館本館2階の地域情報国際交流コーナーに留学生用情報端末機を増設しました。英語版3台、中国語版2台の5台です。OSはWindows XPで、インターネットエクスプローラー、ワード、エクセルが利用でき、キーボードは各国語版専用のものとなっています。

留学生をはじめとして、多くの方々に利用していただけるようお知らせします。



平成16年度新入生館内ツアー案内

本館1-6階と書庫1-4階を巡って、資料や設備をご案内します。
図書館受付カウンターで申し込んでください。

当日は開始5分前に本館2階ロビーにお越しください。

第1回	4/14	(水)	13:20~14:00
第2回	4/14	(水)	15:20~16:00
第3回	4/21	(水)	13:20~14:00
第4回	4/21	(水)	15:20~16:00
第5回	4/28	(水)	13:20~14:00
第6回	4/28	(水)	15:20~16:00

☆この他の日時でもグループでの申し込みならばご案内します。

平成16年度 附属図書館開館・休館予定表

4月		5月		6月		7月		8月		9月	
1	木	△	1	土		1	火		1	日	
2	金	△	2	日		2	水		2	月	
3	土	休館	3	月	休館 憲法記念日	3	木		3	火	
4	日	休館	4	火	休館 国民の休日	4	金		4	水	
5	月	△	5	水	休館 こどもの日	5	土		5	木	
6	火	△	6	木		6	日		6	金	
7	水	△	7	金		7	月		7	土	休館
8	木	△	8	土		8	火		8	日	休館
9	金	△	9	日		9	水		9	月	△
10	土	休館	10	月		10	木		10	火	△
11	日	休館	11	火		11	金		11	水	△
12	月		12	水		12	土		12	木	△
13	火		13	木		13	日		13	金	△
14	水		14	金		14	月		14	土	休館
15	木		15	土		15	火		15	日	休館
16	金		16	日		16	水		16	月	△
17	土		17	月		17	木		17	火	△
18	日		18	火		18	金		18	水	△
19	月		19	水		19	土	休館 海の日	19	木	△
20	火		20	木		20	日		20	金	△
21	水		21	金		21	月		21	土	休館
22	木		22	土		22	火		22	日	休館
23	金		23	日		23	水		23	月	△
24	土		24	月		24	木		24	火	△
25	日		25	火		25	金		25	水	△
26	月		26	水		26	土		26	木	△
27	火		27	木	休館 臨時休業日	27	日		27	金	△
28	水		28	金	休館 (創立記念日振替)	28	月		28	土	休館
29	木	休館 みどりの日	29	土	休館 大学祭	29	火		29	日	休館
30	金		30	日	休館 大学祭	30	水		30	月	△
			31	月	(創立記念日)				31	火	△

10月		11月		12月		1月		2月		3月	
1	金		1	月		1	土	休館 元旦	1	火	△
2	土	休館 作業停電	2	火		2	日	休館	2	水	△
3	日		3	水	休館 文化の日	3	月	休館	3	木	△
4	月		4	木		4	火	休館	4	金	△
5	火		5	金		5	水	△	5	土	休館
6	水		6	土		6	木		6	日	休館
7	木		7	日		7	金		7	月	△
8	金		8	月		8	土		8	火	△
9	土		9	火		9	日		9	水	△
10	日		10	水		10	月	休館 成人の日	10	木	△
11	月	休館 体育の日	11	木		11	火		11	金	休館 建国記念の日
12	火		12	金		12	水		12	土	休館 後期試験予定
13	水		13	土		13	木		13	日	休館
14	木		14	日		14	金	△	14	月	△
15	金		15	月		15	土	休館 センター試験	15	火	△
16	土		16	火		16	日	休館 センター試験	16	水	△
17	日		17	水		17	月		17	木	△
18	月		18	木		18	火		18	金	△
19	火		19	金		19	日		19	土	休館
20	水		20	土		20	月		20	日	休館 春分の日
21	木		21	日		21	金		21	月	休館 振替休日
22	金		22	月		22	土		22	火	△
23	土		23	火	休館 勤労感謝の日	23	日	休館 天皇誕生日	23	水	△
24	日		24	水		24	月		24	木	△
25	月		25	木		25	火		25	金	休館 前期試験予定
26	火		26	金		26	日	休館	26	土	休館
27	水		27	土		27	月	△	27	日	休館
28	木		28	日		28	火	休館	28	月	△
29	金		29	月		29	水		29	火	△
30	土		30	火		30	木		30	水	△
31	日					31	金		31	木	△

- 通常開館 9:00~22:00
 - △ 短縮開館 9:00~17:00 (1月14日、2月24日、3月11日は9:00-12:00 予定)
 - 休日開館 10:00~17:00
 - 休館
- 国民の祝日に関する法律に定める祝日及び休日
 休業期間中の土・日曜日
 大学祭 (5月27日-30日)
 作業停電日 (10月2日)
 年末年始 (12月28日-1月4日)
 大学入試センター試験実施日 (1月15・16日)
 入学者選抜学力検査前期・後期日程実施日 (2月25日、3月12日 予定)

図書館関係会議

(平成15年9月～16年3月)

◎ 学内関係

- ・ 第3回附属図書館運営委員会
期日 平成15年11月6日
場所 附属図書館会議室
- ・ 第4回附属図書館運営委員会
期日 平成16年2月17日
場所 附属図書館会議室

◎ 学外関係

- ・ 北信越地区国立大学図書館事務(部・課長)会議
期日 平成15年11月21日
場所 長岡グランドホテル
- ・ 国立大学図書館協議会シンポジウム(東地区)
期日 平成15年11月27日～28日
場所 一橋大学
- ・ 国立大学附属図書館事務部長会議
期日 平成16年1月22日
場所 名鉄トヤマホテル

平成15年度附属図書館運営委員会委員名簿

(平成15年8月1日現在)

館長	山地啓司	工学部	袋谷賢吉
人文学部	湯川純幸	工学部	竹越栄俊
人文学部	田村俊介	教養教育実施機構	奥村譲
教育学部	呉羽長	総合情報基盤センター	村井忠邦
教育学部	徳橋曜	事務部長	東高明
経済学部	坂幸夫	情報管理課長	五十嵐輝雄
経済学部	高山龍太郎	情報サービス課長	木村優
理学部	宮澤眞宏		
理学部	森脇喜紀		

「書香」は図書館ホームページへも掲載しています。

URL <http://www3.toyama-u.ac.jp/lib/>

富山大学附属図書館報「書香」No.43

2004年3月31日発行

編集 富山大学書香編集委員会

発行 富山大学附属図書館

富山市五福3190

電話 076-445-6891 (ダイヤルイン)